

☆中国

化繊需給

2013年の中国の化繊需給

中国化繊情報網 (CCF) によると、2013年の化繊需給は以下の通り。

2013年の化繊生産は前年比8.7%増の4,122万ト、輸入は6.2%増の87万ト、輸出は8.6%増の268万トとなった。その結果、内需(ミル消費に相当)は8.6%増の3,941万トとなった。生産に占める輸出比率は6.5%で前年比横ばい、内需に占める輸入比率は2.2%と前年比0.1ポイント下落した。CCFでは、生産と内需の伸びについて、過去3年は、比較的バランスのとれた発展がみられると指摘している。

一方、化繊産業の工業生産値は前年比15.5%増の7,959億元であり、生産単価(生産額/生産量)は、19,308元/トと前年より約1,100元(6.3%)上昇、中国の化繊生産の差別化、高付加価値化が進んでいることを示している。

中国の化繊需給

| | 生産 (万ト) | 輸入 (万ト) | 輸出 (万ト) | 内需 (万ト) | 工業生産値 (億元) | 生産単価 (元/ト) |
|------|----------------|-------------|--------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 2011 | 3,410 | 88 | 236 | 3,262 | 6,398 | 18,761 |
| 2012 | 3,792 | 82 | 247 | 3,627 | 6,889 | 18,165 |
| 2013 | 4,122 (8.7) | 87 (6.2) | 268 (8.6) | 3,941 (8.6) | 7,959 (15.5) | 19,308 (6.3) |

注) カッコ内は前年比(%)

☆欧州

繊維生産

不織布生産、200万ト突破——2013年

欧州の不織布業界団体であるEDANAによると、2013年の欧州の不織布生産は前年比1.9%増の203.7万トであった。2012年の生産は前年比1.5%増の199.9万トであり2年連続で1%台の低い伸びとなった。

2013年の生産を用途別にみると、衛材用途が全体の32%を占め最大、(1.9%増の64.6万ト)であった。一方、伸び率では医療用が14.0%増、フィルター用が11.5%増、パーソナルケア用ワイプが12.4%増と2桁の伸びとなった。また、自動車用途も4.1%増であった。一方で、芯地、合成皮革、農業・建築用途の一部でマイナス成長となった。

☆米 国

通 商

EU、米国製ジーンズに対する報復関税撤廃へ

EUは5月1日付で、現在、米国製女性用ジーンズに課されている報復関税率を26%から0.35%にまで引き下げる予定である。これにより同製品の関税は、これまでの38%から12.35%となる見通しである。

EUにおけるこの関税は、WTOによる、米国のバード修正条項¹に対する制裁措置の一環であった。米バード修正条項は、WTOルールに抵触するとして撤廃されたが、撤廃前に課税されたものについては分配が認められていた。これに対し、WTOは、米国における前年の分配額を参考として、EU各国が同製品への関税を引き上げるのを認めていた。

2012年にEUの物価が急上昇したことから、米国のAD/CV税収及び分配額が増加した。その結果、EUは2013年に米国の主要輸出アイテムの1つである女性用ジーンズを報復関税リストに追加した。しかし、2013年の米国における分配額は2012年の約半分に減少したため、米国製のジーンズ他に課された報復関税は大幅に引き下げられたもようである。

(以上)

¹ アンチ・ダンピング税及び相殺関税（AD/CV税）により米国政府が得た税収を、ダンピング又は補助金提訴を支持した国内業者等に対して分配することを義務づける米国内法